

科目名	医療概論 (Introduction to Medical Care)			科目コード	140
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	1 年次前期	関連DP	看①③⑤、臨①②⑤
担当教員	中西 純子、安川 正貴、内藤 真帆、遠藤 弥重太*				
授業概要	<p>医療の全体像について様々な角度からオムニバスで教授する。 (安川教授) 医療の歴史および医療における倫理について教授する。 (遠藤教授) 医療技術発達の基礎となる生命科学研究について教授する。 (中西教授) 健康の意義、医療の目的、専門職の本質・要件と教育制度、社会における保健医療の仕組みについて教授する。 (内藤講師) 文化によって異なる健康の考え方や医療の在り方について教授する。</p>				
授業目標	<p>本質的・多角的な視点で医療の全体像を捉えることができる。 1. 医療の歴史の変遷および医療従事者としての倫理を理解できる。 2. 日本の現代社会における保健医療の仕組み、自然や文化によって異なる医療の多様性、専門職者の本質と役割を理解できる。</p>				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	医療の歴史	有史以来、現在までの医療を概括する 医療技術の進歩だけでなく医療に対するそれぞれの時代の考え方、社会のニーズにも言及する	安川正貴
2	医療と生命科学 (1)	科学の本質と医療の関係を考察し、医療に求められる倫理性を追及 疑似科学の紛れ込みを見抜く重要性を述べる	
3	医療にかかわる生き方	医学における研究について、体験を中心に述べ、その重要性を解説する	
4	医療と生命科学 (2)	我々は何者か? 生命科学から見えてくるもの	遠藤弥重太
5	健康とは何か、保健医療サービスを 活用する人々にとっての医療とは	健康の定義、その歴史の変遷と現在の考え方 ヘルスプロモーション、加齢ということ、心を病むということ、障害と健康、ノーマライゼーションの考え方 患者中心の医療、患者の権利: インフォームド・コンセント、個人情報保護、医療に何を求めているか	中西純子
6	保健医療の提供システム	日本の保健医療の提供システム: 医療保険制度の現状と課題(医療保険・介護保険など)、医療と経済の問題 国及びわが町の医療計画はどうなっているか	
7	様々な医療分野の概観	救急医療、慢性期医療、在宅医療、周産期医療、終末期医療、小児医療、高齢者医療、災害医療、再生医療等	
8	異文化における健康、病気、医療	人間の身体、健康や病気の考え方、治療の方法などが、それぞれの生きる環境や文化によって多様であることの理解	内藤真帆
成績評価方法		レポート: 安川 50%、中西 50%	
教科書		千代豪昭「学生のための医療概論」第4版 (医学書院)	
参考図書等			
授業時間外の学習について		事前学習として、各回で取り上げる内容に該当する教科書のページを読んでおくとともに、事後学習として、日本及び世界の視点から学習した事について、自分の居住地や出身地ではどうかを検索する。	
関連科目		126 生命科学、127 生命倫理、139 医療と安全、140 チーム医療、162 医療と経済、163 社会保障制度論、164 保健医療福祉行政論、111 文化人類学	
備考		実 中西純子: 看護師 (医療機関)、安川正貴: 医師 (医療機関)	